

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 082	提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会
要望問題名 飼料用穀物栽培体系(方法)の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 子実トウモロコシや飼料に向けた大豆等の、神奈川県内での栽培はほとんどないのが現状です。 配合飼料価格が高騰する現在、転換畑やブロックローテーション等を活用し、飼料用穀物が輸入原料より安価に生産されれば、ほ場の有効利用・飼料原料の生産につながります。 またその際に豚ふん堆肥(畜ふん堆肥)を活用すれば、循環型農業の一層の推進、SDGsにつながります。 そこで、飼料用穀物の栽培体系(方法)の確立を願います。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター 畜産技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 企画指導部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 子実とうもろこしの安定多収生産技術の開発(令和4～6年度)		
対応の内容等	農業技術センターでは、飼料作物は所管外のため、実施不可とします。 畜産技術センターでは、国産飼料用穀物の必要性が高まっている中で、令和4年度から農水省委託プロジェクト研究「子実とうもろこし(国産濃厚飼料)の安定多収生産技術の開発」として、農研機構を中心に都道府県、大学等と連携する中で取組みを開始したところであり、神奈川県としては暖地における遅まき栽培向け高能力品種の選定について取り組んでいます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			